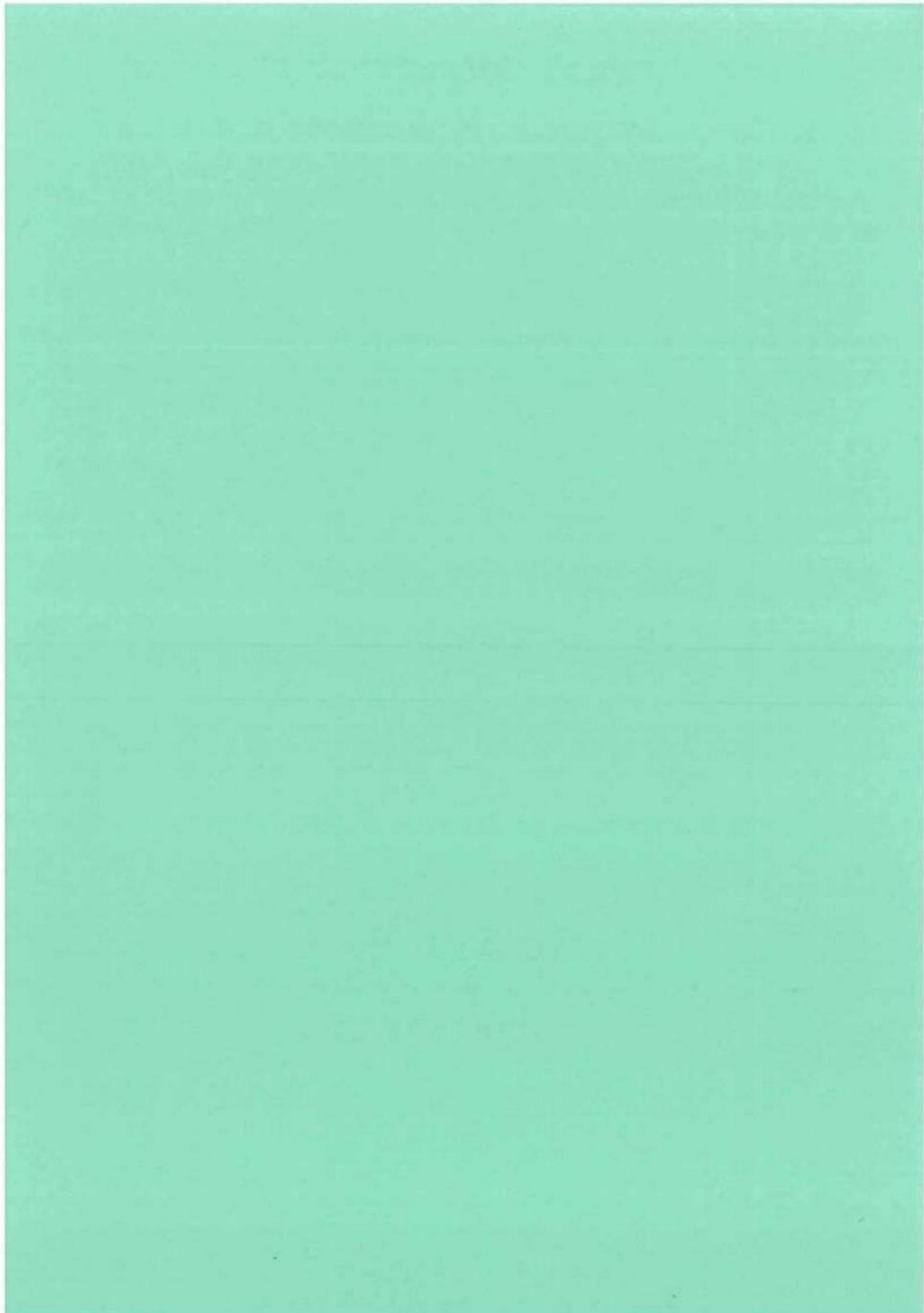


島本町立歴史文化資料館 館報第6号



平成27年3月

島本町立歴史文化資料館



はじめに

平成 20 年 4 月 12 日に島本町立歴史文化資料館がオープンして、早 6 年の月日が流れました。

この間、住民の皆様はもとより近隣市町村の皆様にも親しみの持てる館としてリピートしていただいております。

昨年度は開館 5 周年事業として 5 月に、「史蹟 櫻井驛址物語 ～むかしといま～」の演題で、関西大学文学部教授 藤田 貫 氏に、史実や事例を基にご講演いただきました。また、11 月には、「西国街道 ～しまもと・大山崎～」の演題で、大山崎町歴史資料館 館長 福島 克彦 氏に、西国街道に纏わる興味深いお話を賜りました。両講演会とも、熱き入館をいただきありがとうございました。講師の先生方並びにご参会いただきました皆々様方に厚く御礼を申し上げます。

昨年度は 8 つの企画展を実施いたしました。「水無瀬神宮茶室屋根葺き替え風景」パネル展では前年度に一般公開されたときの様子を、葺き替え風景を中心に写真パネルにて紹介をいたしました。「広瀬遺跡（藤ノ木）遺跡発掘調査」速報展、「広瀬遺跡（小代）遺跡発掘調査」速報展、町内に残る道標の拓本展示を中心とした秋の企画展「石に刻まれた歴史」展、水無瀬家所蔵の水無瀬駒実物展示も含めた「水無瀬駒関連資料」展示会を実施しました。また、恒例となりました「島本の神事」展は高浜地区のお火焚き祭を、「しまもとの郷土かるた」原画展、「むかしのくらしと農家のしごと」展もあわせて実施しました。住民の皆様はもとより遠方からも关心をお寄せいただき、10,000 名近くの入館をいただきました。

また、文化振興の一環として、開館当初から島本音楽協会様のご協力を得て開催いたしております資料館コンサートも昨年度末で通算 40 回を迎えることができました。様々なジャンルのコンサートが開催できたこと、たくさんの方々のご支援を賜ったことに感謝の念が堪えません。

公募による施設使用につきましても、たくさんのご利用をいただきました。今後も地域に溶け込んだ活動を応援する施設であり続けたいと思っております。

いつも温かくご支援くださる皆様方に感謝するとともに、今後の益々のご支援・ご協力を、心からお願ひ申し上げます。

平成 27 年 3 月

島本町立歴史文化資料館
館長 北野 弘範

目 次

はじめに	1
講演会	
「史蹟櫻井驛址物語 ～むかしといま～」	
講師 藪田 貴氏	3
「西国街道 ～しまもと・大山崎～」	
講師 福島 克彦 氏	5
展示	
常設展 「ひと・もの・みち」	7
「水無瀬神宮茶室屋根葺き替え風景」パネル展	8
企画展「広瀬遺跡（藤ノ木）発掘調査」速報展	8
秋の企画展「石に刻まれた歴史」展	9
企画展「広瀬遺跡（小代）発掘調査」速報展	9
島本の神事展 「高浜地区：お火焚き祭」	10
新春企画展 「しまもとの郷土かるた」原画展	10
民具・農具展「むかしのくらしと農家のしごと」展	10
夏休み体験学習 「どき、ドキ、土器探し！」	11
資料館ボランティアの活動報告	11
事業報告	
企画展・催物一覧	12
公募による催物一覧	12
入館団体	13
日誌抄録	13
利用状況	14
寄贈・寄託	14
受入れ図書	15
調査・研究	
淀川より出土した須恵器甕について	17
町指定文化財一覧	18

部分だけが肥大化しました。江戸時代、新井白石は楠木正成を偉大な政治家で、善政が行われたという評価をしています。ところが近代になると、天皇に忠誠を尽くす軍人の代表としてのイメージが広がっていくわけです。皇居前に銅像が建てられ、戦争の中で忠義を尽くした人物として描かれていくわけですね。その結果、明治維新以後、桜井の駅跡の別れというのは、『太平記』以上に国民的な神話になっていくわけです。その時に史跡として物的証拠を持って検証していかないかん部分があるんですが、戦前にはそれが出来ない。

吉田初三郎という鳥瞰図を描いて非常に売れっ子になった画家がいます。大阪府庁にある大きな鳥瞰図は、昭和7年（1932）に天覧用に描いたものです。この中に、水無瀬離宮と桜井の駅跡が描かれています、クスノキが植わっています。楠木だからクスノキを植えたってことです。松は忘れられています。その後初三郎は、資料館が持つておられる皇紀2600年の「桜井周辺図」を描きます。そして、水無瀬離宮よりも大きな規模で桜井の駅跡ができあがりました。もうひとつ注目して頂きたいのが、この場所が島本町の都市計画のランドマークになっているという事です。田んぼだけだった場所が新興都市化されて行く時に、桜井の駅跡を中心として繋ぐことで島本町は都市計画進めいくんです。それぐらいに、この場所は大きな意味があったわけですね。

本当にここが桜井の駅跡だということが確証されるためには、発掘した場所から何かが出てこないやならない。平成17年度の発掘調査報告書に「当該地は桜井駅跡遺跡の包蔵地であるが、桜井駅跡として比定される根拠となっている楠木正成・正行父子訣別の伝承の年代である14世紀前半の遺物は出土しなかったことから、少なくとも今回の調査地において「桜井駅」が存在した可能性は低い。」と書いてある。ところが平成20年の報告書には、「駅や駅家に関連する遺構は確認されなかったものの、国史跡「桜井駅跡」周辺が中世には有力者の屋敷地が存在する地帯であったことが判明したことは貴重な成果である。」と書いてあります。判断が揺れています。遺物は出ても建物の遺構はないわけです。その建物が何かというと駅の遺構かどうか分かりません。あるいは、有力者の私邸であった可能性もあるわけですね。いずれにしても現在の基準でいえば、物的証拠のない土地を史跡として指定する事はありません。いかに戦前、国民によく知られ史跡とされていたものであったとしても、それは伝承の世界であって、本当にそこに桜井の駅跡で父子の訣別が行われたかどうかを証明する物証は未だないということです。戦後の史跡とこの基準に照らせば、証拠不足です。しかし、島本村の先代の人達はここが史跡になる前からその場所を公園にしたんです。これはすごいですね。だがその根拠になるものがない。いまだに見つからない。悩ましいですね。ですが、幸いなことに文化庁が昭和23年に史跡名勝天然記念物法から文化財保護法にかわった段階で史跡指定を取り消してないんです。要するに戦前の体制から戦後の体制に変わったが、ここは戦前のまま生き残っているんです。言い換えると宿題が残っている。その意味を考えて頂きたい。それを今後、どういうふうに町として展開していくかどうかですね。これについては、大いなる楽しみが残っていると思って頂いたらどうでしょうか。以上、これまで話を終わらせて頂きます。ありがとうございました。

講演会「史蹟桜井駅跡物語 ～むかしといま～」

平成 25 年 5 月 18 日 (土)

藤田 貫 氏

こんにちは。今日お話しするのは、歴史が社会の場で
どういう位置を持つのかということで、桜井の駅跡とい
う遺跡を取り上げて、いかに地域社会の中で文化財行政
というものが大事であるかということをお話させてもらおうと思っております。



島本町は、この史蹟桜井の駅跡の中に非常に丁寧に碑と銘板を建てておられます。この桜井の駅跡は、明治 9 年 (1876) に大阪府権知事の渡辺昇が、楠公旗立の松のあるところに「楠公訣児之處」碑を建てたのが出発です。そして、明治 27 年に地元の人たちによって「忠義貫乾坤」という碑を建てられました。これではまだ史跡になりません。ところが、楠公旗立の松が明治 30 年頃枯れました。この松こそが桜井の駅址を証明する唯一の物証だから、株が大事に残してあります。この松は明治 9 年以前からあり、この松を目当てに渡辺昇がやってきてあの碑を建てたんです。それから大正 2 年 (1914) に、乃木希典と細川潤次郎が「楠公父子訣別之所」碑をここに建て、一大公園としての桜井の駅跡公園が出来るんです。史跡に指定される前に、ここを楠公父子の訣別の場所として記念化しようという運動が起ったという事ですね。まさに島本の小さな碑が、全国に知れわたったという事です。そして大正 10 年に史跡になります。史跡というものは、戦前の場合であっても、それなりの証拠がないとならないんですが、戦前の史跡は伝承を重視したんです。物証が出てこなくても、口記伝承があったら、それを史跡にしようということです。

実は、この桜井の駅跡の話の始まりは、全て『太平記』にあります。『太平記』の中で「正成是ヲ最期ノ合戦ト思ケレバ、嫡子正行ガ今年十一歳ニテ供シタリケルヲ、思フ様有トテ櫻井ノ宿ヨリ河内へ返シ遣ストテ、庭訓ヲ残シケルハ獅子子ヲ産ンデ…」という有名な「子別れの庭訓」になつていくわけです。これが史蹟桜井の駅跡のスタートです。軍記物は、いつどこで起つたかということを書いてありますが、それがどの場所かを特定することは大変難しい。ここには、桜井の宿というところで別れる、と書いてあるんです。それを、賴山陽の『日本外史』は、「五月十六日。弟正季子正行等とともに閑を辞して西にむかう。櫻井駅に至る。正行時年十一」とあります。違うのが 1ヶ所、宿と駅。『太平記』は「櫻井ノ宿ヨリ」と書いてあり、『日本外史』は、「櫻井の駅」と書いてあります。「駅」と書いたら、中央政府が設定した宿駅に泊つたということになるわけです。それがどこだ、ということで『続日本紀』和銅四年条にある「折津國島上郡大原駅」がクローズアップされ、山陽道の大原駅の場所を探すことが課題となります。大原駅というものが、島本の町内にあってそれが発見されたら、桜井の駅跡の場所が特定できます。だから、大原駅を見つけなければならない。いずれにしても『日本外史』以降では大原駅がどこにあるかという事が、桜井の駅跡を決める時に大問題だって事です。これが文献的な問題です。

また、日本の近代が軍事大国となって行くと共に、楠木正成がもっているイメージの中のある

講演会「西国街道～しまもと・大山崎～」

平成 25 年 11 月 16 日（土）

福島 克彦 氏



今回は西国街道と島本地域との関わりについて簡単にお話をさせて頂きたいと思います。

さて、一般的に西国街道とは、京都から大阪を通らずに神戸方面へ向かう街道の事です。古代は、西国街道自体が山陽道であり、都が長岡京、あるいは平安京に移ってきますと、九州の大宰府と京都を結ぶ重要な街道として位置づけられるようになります。長岡京ができた要因のひとつとして、水陸の便が非常によかつた場所だという事があります。この西国街道と淀川が 1 番近いのが、大山崎や広瀬の辺りで、水陸の交通路の結節点として大変、機能していたという事が言えます。

中世鎌倉・室町時代には、西国街道は播磨大路や播磨街道という表現が使われています。近世江戸時代の山崎道は、参勤交代の道、参詣道、あるいは南北道との接点であるところが大きな特徴です。18 世紀の半ばに、『行程記』という萩藩主の参勤交代路として江戸までを描いた絵地図の中に水無瀬離宮に向かう道が描かれています。南北に走る道がたくさん造られ、当然その間の結節点に道標が造られています。こういった街道沿いにある道標は、東西の道との接点になっていて、片方は淀川の水運の船着き場、あるいは渡し場に直結している、ということになります。で、西国街道の特に広瀬、山崎の周辺の特徴はまさしくその淀川の水運と直結していたということになります。

さて、地域との関わりを考える場合、広瀬は大変重要な歴史を持っております。その内のひとつに、後鳥羽上皇が造った水無瀬殿があります。発掘調査で当時の軒平瓦が沢山見つかっており、水無瀬殿がどの辺りにあったのか大変注目されます。藤原定家の『明月記』に水無瀬殿についての記事がでています。水無瀬殿が造られたのが正治元（1199）年で、その頃に道が造られたと言われています。同時に広瀬村の始まりでもあったと思われます。正治 2 年閏 2 月 23 日には、水無瀬殿に上皇がやってきて、皆瀬を改め「広瀬」と呼んでいると書いています。広瀬という名前がこの頃には、できたのではないかと思います。この水無瀬殿は淀川水運とも繋がっており、建仁 2（1202）年 2 月 14 日水無瀬殿に釣殿があり船が直接水無瀬離宮に入ることができたという記事が出てきます。もうひとつ、鎌倉時代には播磨大路沿い、西国街道沿いに宅地が並んでいて完全に成立していましたと思います。山崎の住民達が色々と活動しており、建永 2（1206）年 4 月 3 日の記事に、山崎の民家が經營している離宮八幡宮の日使頭祭という重要な祭礼があると書かれています。祭礼の行列が播磨大路（西国街道）通つて八幡まで行くという事から、大路という重要な道として認識されていて、それを藤原定家が記録していたという事がわかります。それから、建保 5（1217）年 2 月 24 日には水無瀬殿を新しく造り、同時に大工事をする関係で魚市を移すという記事がでできます。ここから、淀川水運との絡みが見えてきます。こういった後鳥羽上皇の水無瀬殿、居館が造られた記事だけ見ても、淀川の水運と播磨大路と言われる西国街道のルートが、重要な意味を持っていて、それが接近する場所だからこそ、こういう魚市場ができたりするということが想定できます。

時代が下がって、この山崎、島本辺りで重要なのは、割符屋を営む広瀬大文字屋です。鎌倉・室町時代になりますと、東寺は西日本のあちこちの荘園から年貢やお金を運んできて、それを東寺の

経営にあてていきます。年貢を運ぶ為には船を利用したり、お米を売ってお金を持って帰ります。ところが、当時は中国の宋銭とか明銭といった銭貨を使っていて、これが大変量がかさばります。人間や馬で、運んで来るとなると大変な労力になります。それで、割符と言われる金銭の取引の決算に使用された証紙、今で言えば小切手みたいなものを使ってお金を途中で換金するということを行っていました。その割符屋と言われた人達が広瀬に住んでいたということが、『東寺百合文書』に書かれてあります。同時に、この山崎・広瀬は、西国街道のルート沿いにあるので、各地の莊園の担当者が、陸上交通を行き来するようになります。皆が立ち寄る場所でもあったんで、割符屋さんのような場所があったと考えられます。

それから、天文 13 (1544) 年戦国時代の頃の史料ですが、根津とか、高槻、茨木、あるいは島本もそうかもしれません、その色んな薪とか柴とかそういう物を西国街道沿いに運んで、それを船に乗せて、八幡まで運ぶという流通または運送がなされていたという事が分かるわけです。だからこの西国街道と淀川の水運、あるいは渡し場が大変近かったので、それを中継するポイントとしても大変意識されていたという事が分かります。

次に近世の馬借について押さえておきたいと思います。江戸時代になりますと、街道沿いは色んな人達が馬を使って荷物を運び、馬に人をのせて旅をするようになります。それを当時の幕府が認める体制がとられるようになりました。これを駄賀馬と言い、駄賀をもらって馬を動かす制度が整ってきます。山崎にも駄賀馬が飼われていて、参勤交代や大名達がやって来る公的な業務があると馬を貸しました。ところが馬を貸すだけでは、儲けにならないので、日常的には馬借業の仕事をして、幕府の業務で馬が必要な時にはすぐ対応できるような体制になります。慶長 11 (1606) 年、『奥田文書』という史料の中で広瀬村は、山崎と一緒に業務を担当するよう命じられています。街道沿いの集落を統合化していくということなんです。

さて、街道沿いに町が出来ていくという景観の特徴的なものを最後に示していきたいと思います。山崎の町の様子を描いている地図を見ると山崎という町が、西国街道に沿って続いている様子が良く分かります。同時に「保」と言われる山崎の地縁的な共同体があるんですが、この共同体が街道沿いにずっと並んでいるという事が分かっております。これはかなり特徴的なもので、油売りも絡んでいたということもわかっています。続いて「保」という言葉ですが、簡単に言えば、近代になりますが冠婚葬祭を手伝うような間柄の地縁的な共同体です。山崎の町が西国街道と密接な関係にあったということがよくわかります。この保は、鎌倉時代の中頃には出揃っており、かなり古い段階から地縁的な共同体が、地元で機能していたことになります。島本町、山崎の地域も含めて、西国街道を考える地点として、淀川水運と西国街道との関わりがあるということ。もうひとつ、道標から、調べていく時に色々と文献史料と合わせて考えができるということ。それから最近、島本町で大変注目されています水無瀬殿ですね。発掘調査も、西国街道と絡めて考えることが大変重要な視点になるということ。その辺りを今日は指摘させて頂きました。今、自治体に広域連携というのが求められてまして、こういう西国街道で色々な自治体と連携して調べていくことが、大事な意味を持っていると思います。今後、島本の皆さんと大山崎も、一緒に調べることができたらと思いますし、ほぼ共通の歴史がありますので、是非これからも皆さんと協力してやらせて頂けたらと思います。ご清聴どうもありがとうございました。

展示

常設展 「ひと・もの・みち」

島本町は、大阪府と京都府の境に位置し、桂川、宇治川、木津川の三川合流する地にあります。町の中心を西国街道が通り、古来水陸の交通の要衝として栄えてきました。

その街道沿い国史跡桜井駅跡に隣接して当資料館があります。このような背景を中心に「島本と西国街道－ひと もの みち－」をテーマに展示をすすめてまいります。島本町をより知っていただくための展示・速報展を随時行っています。

また、他市より資料館を訪れる方々のリクエストにお応えして、館内解説を資料館ボランティアさんが担っています。

資料館ではボランティアさんによる来館者への説明や、発掘現場からの遺物を整理保存する作業にも係わって頂いています。



常設展示の民具コーナーでは、足踏みミシンなどの体験をしていただけます。

今のコンピュータミシンとは違い、順番に糸をかけ、針に通し、足踏みペダルからベルトに動力を伝えます。懐かしい昔にかかる体験はいかがでしょうか。



開館時間 午前 9 時 30 分 ~ 午後 5 時

休館日 毎週月曜日（祝日の場合は開館し翌日休館）

12月 29 日 ~ 1月 3 日

その他臨時に開館・休館する場合があります。

入館料 無料

「水無瀬神宮 茶室屋根葺き替え風景」パネル展

展示期間：平成 25 年 4 月 26 日（金）～6 月 16 日（日）

水無瀬神宮所有の国指定重要文化財水無瀬神宮茶室屋根が 21 年ぶりに葺替されました。

屋根の葺替は約 20 年に 1 回という貴重な機会であるため、工事の着工から完成までの様子を写真で紹介しました。

水無瀬神宮のご協力のもと、教育委員会では特別公開を実施、183 人の参加を得ました。

実施日：平成 25 年 1 月 26 日（日）



企画展 「広瀬遺跡（藤ノ木）発掘調査」速報展

展示期間：平成 25 年 6 月 19 日（水）～平成 25 年 8 月 25 日（日）

本町教育委員会が実施した発掘調査により新たな発見がありましたので、昨年に引き続き、今年度も発掘調査の速報展を実施いたしました。

今回の速報展で展示したのは、平成 24 年 11 月 13 日（火）～平成 25 年 1 月 15 日（火）に実施しました広瀬遺跡（藤ノ木）の発掘調査で出土した遺物や遺構の写真パネル等です。この調査では、平安時代（9 世紀後半）の掘立柱建物跡や溝跡等といった遺構を検出しましたが、本町域内での平安時代の本格的な遺構は初めての発見であり、島本町の歴史の空白部分を明らかにする良好な資料となりました。

また、6 月 22 日（土）、7 月 20 日（土）、8 月 24 日（土）の三日間は、当館学芸員による速報展の展示解説を行いました。



秋の企画展「石に刻まれた歴史」展

展示期間：平成 25 年 10 月 30 日（水）～12 月 15 日（日）



時代が移り変わっていく中、街なみも変わっていきます。その変化に伴い、本町施設内（ふれあいセンター）の遊歩道には場所を移した標示石（道標など）があります。

今回の展示では、これらの標示石の拓本を取り一部レプリカを作成しました。同時に、ちょっと昔のしまもとを写真パネルで紹介し當時を振り返りました。

また、大山崎町歴史資料館より講師を迎えて講演会を実施しました。



講演名：「西国街道　－しまもと・大山崎－」

日 時：11 月 16 日（土）午後 2 時より

講 師：福島 克彦氏（大山崎町歴史資料館 館長）

企画展 「広瀬遺跡（小代）発掘調査」速報展

展示期間：平成 25 年 12 月 18 日（水）～平成 26 年 1 月 30 日（木）

上述いたしました広瀬遺跡（藤ノ木）の発掘調査に続き、平成 25 年 10 月 1 日（火）～平成 25 年 11 月 8 日（金）に実施した広瀬遺跡（小代）の発掘調査でも平安時代の掘立柱建物跡や遺物を発見しましたので、速報展を開催し、調査の様子と結果を紹介いたしました。



本町 2 例目となる平安時代遺構ですが、広瀬遺跡（藤ノ木）の調査の時に見つかった遺構が 9 世紀後半であるのに、広瀬遺跡（小代）で検出した遺構は 10 世紀後半とやや新しくなります。

これらの遺構が近い位置に存在することから、これらの遺構周辺には、平安時代に継続的に人が住んでいたということが明らかになりました。

本町の平安時代の資料というのはまだまだ少ないですが、着実に資料が蓄えられていくまでの間、また新たな発見がありましたら、速報展等を通じて紹介していきたいと思います。

島本の神事展「高浜地区：お火焚き祭」

展示期間：平成 25 年 12 月 18 日（水）
～平成 26 年 1 月 30 日（木）

島本町・高浜地区にある薬師堂では、毎年 1 月 8 日に
地域の方々が集まり護摩焚きが行われます。

無病息災と豊作を祈願し受け継がれて祭られています。



新春企画展

「しまもとの郷土かるた」原画展



【過去の企画展】

展示期間：平成 26 年 1 月 8 日（水）～平成 26 年 1 月 30 日（木）

資料館毎年恒例「しまもとの郷土かるた」原画展は、平成 25 年度
で 6 回目を迎え、今回は「け」「ふ」「こ」「え」「て」の 5 枚の絵札
を展示しました。

水無瀬渓谷の水車小屋や山崎宮など、切絵で描かれた絵札の原画
を紹介しました。

年 度	絵 札	枚 数
平成 20 年度	「い」、「ろ」、「は」、「に」、「ほ」、「へ」、「と」	計 7 枚
平成 21 年度	「ち」、「り」、「ぬ」、「る」、「お」、「わ」、「か」	計 7 枚
平成 22 年度	「よ」、「た」、「れ」、「そ」、「つ」、「ね」	計 6 枚
平成 23 年度	「な」、「ら」、「む」、「う」、「の」	計 5 枚
平成 24 年度	「く」、「や」、「ま」	計 3 枚
平成 25 年度	「け」、「ふ」、「こ」、「え」、「て」	計 5 枚

民具・農具展

「むかしのくらしと農家のしごと」展



展示期間：平成 26 年 2 月 1 日（土）～平成 26 年 3 月 2 日（日）

毎年この季節に、昔使われていた民具や農具を展示し、むかし
の暮らしと昔の農業について紹介しています。

来館者の皆様には、けん玉などの昔遊びや縄ない、石臼挽きなど
を体験いただきました

夏休み体験学習

「どき、ドキ、土器探し！」～資料館で発掘調査を体験～

日程：平成 25 年 7 月 27 日(土)、8 月 2 日(金)、3 日(土)

遺跡発掘調査で持ち帰った土の中には、土器や石器の欠片がたくさん含まれています。今回は、遺跡の勉強をしながら土の中から遺物を探し出す発掘体験を行いました。

大人も子どもも一生懸命に土器や石器を掘り出して下さいました。約 3000 年前の土に触れて、当時の人々の生活に思いを馳せていただけたのではないかでしょうか。

毎回たくさんご参加いただきありがとうございました。

探し出された遺物は、資料館で展示しました。



資料館ボランティアの活動報告

平成 25 年 9 月後半より 12 月にかけて全 6 回の講習会を受講されて資料館ボランティアの第 2 期生が誕生しました。

島本町の歴史、文化に興味があり資料館の展示解説など担ってくださる方たちです。

事業報告にある企画展・催物に 1 期生のみなさんと共に参加いただきました。



事業報告

企画展・催物一覧

日時・期間	企画展
4月26日(金)～6月16日(日)	「水無瀬神宮茶室屋根葺き替え風景」パネル展
6月19日(水)～8月25日(日)	「広瀬遺跡(藤ノ木)発掘調査」速報展
10月30日(水)～12月15日(日)	秋の企画展 「石に刻まれた歴史」展
11月 2日(土)～12月 8日(日)	「水無瀬駒 関連資料」展示会
11月23日(土)・11月24日(日)	水無瀬駒 實物展示
12月18日(水)～1月30日(木)	島本の神事展 「高浜地区:お火焚き祭」
12月18日(水)～1月30日(木)	「広瀬遺跡(小代)発掘調査」速報展
1月 8日(水)～1月30日(木)	新春企画展 「しまもの郷土かるた」原画展
2月 1日(土)～3月 2日(日)	民具・農具展 「むかしのくらしと農家のしごと」展

日時・期間	催 物
4月21日(日)	第33回コンサート 「川合亜美 ピアノリサイタル ～子どもから大人まで楽しむクラシック～」
5月18日(土)	講演会 「史蹟 横井驛址物語～むかしといま～」講師 萩田 貢氏
6月22日(土)	「広瀬遺跡(藤ノ木)発掘調査」速報展解説①
7月20日(土)	「広瀬遺跡(藤ノ木)発掘調査」速報展解説②
7月27日(土)	夏休み体験学習 「どき、ドキ、土器探し」①
8月 2日(金)	夏休み体験学習 「どき、ドキ、土器探し」②
8月 3日(土)	夏休み体験学習 「どき、ドキ、土器探し」③
8月24日(土)	「広瀬遺跡(藤ノ木)発掘調査」速報展解説③
9月 15日(日)	第34回コンサート「川合亜美・末吉智絵 ピアノデュオコンサート ～子どもから大人まで気楽にクラシック～」
10月 6日(日)	第35回コンサート「オータムコンサート～名曲を愉しむ午後のひととき～」
10月27日(日)	第36回コンサート「チェロとピアノのコンサート」
11月16日(土)	講演会「西国街道～しまもと・大山崎～」講師:福島 克彦氏
11月17日(日)	第37回コンサート「熊沢由美子 ソプラノリサイタル ～晩秋のひとときを歌にのせて～」
12月 6日(日)	第38回コンサート「上田晶子 ヴァイオリンリサイタル」
12月21日(土)	第39回コンサート「デュオ・マトリョーシカ～ロシアの冬景色～」
3月23日(日)	第40回コンサート「池田真己テノールリサイタル ～イタリアの名曲を中心にテノールの歌声にのせて～」

公募による催物一覧

日時・期間	内 容
4月 6日(土)・7日(日)	「ペーパークラフト実演」ふるさと島本案内ボランティア
5月19日(日)	「緑の風コンサート」ソプラノ橋本
5月21日(火)	「一緒に歌いませんか」島本町婦人協会童謡クラブ
6月 1日(土)・8日(土)・9日(日) 15日(土)・16日(日)	「ペーパークラフト実演」ふるさと島本案内ボランティア
6月25日(火)	「詩吟発表会」直心吟詩会
7月 2日(火)～7月 7日(日)	「七夕飾り」島本竹工房
9月21日(土)	「住まいの歴史と教育セミナー」第一小学校地域応援団 和(なごみ)
10月18日(金)	「一緒に歌いませんか」島本町婦人協会童謡クラブ
3月30日(土)	「手作りアート・木琴ワークショップ」 島本町立第一小学校地域応援団 和(なごみ)

入館団体

平成25年度(2013)

4月2日	共生の里・成合ディサービス(高槻市)
4月3日	共生の里・成合ディサービス(高槻市)
4月4日	京都百人一首・かるた研究会(京都市)
4月5日	阪急京都線沿線観光あるき(大阪市)
4月10日	京都百人一首・かるた研究会(京都市)
4月24日	平成25年度新規採用職員研修会(島本町) 6団体
5月3日	阪急京都線沿線観光あるき(大阪市)
5月12日	あゆみ(枚方市)
5月16日	千早赤阪村 橋公史跡保存会(南河内郡)
5月17日	吹三ハイキング部(吹田市)
5月24日	新規採用職員初任者研修会(島本町) 6団体
5月25日	高槻漫詩会
6月6日	文化協会(島本町)
町会議員施設訪問	
6月7日	阪急京都線沿線観光あるき(大阪市)
6月16日	三ご連(三島地区)
6月27日	池田なごみの会(池田市) 5団体
7月11日	いつも金(吹田市)
7月12日	クボガ堺製鉄所OBハイキングクラブ(堺市) 2団体
8月21日	おやじまつり(大津市) 1団体
9月23日	西宮市生涯学習大学宮水学園 (「ウォーク富水」(若宮市))
9月26日	いきいきなんでもクラブ!(大阪市) 2団体
10月20日	ガールスカウト大阪第90団(島本町)
10月20日	西宮市ファミリーハイキング(西宮市)
10月30日	大阪高齢者大学校 自然文化を楽しむ科 (大阪市) 3団体
11月2日	西国街道リレーウォーク・歴史街道推進協議会 (大阪市)
11月6日	桂歩二会(京都府)
11月20日	高齢者大学 歴史中世科(大阪府)
11月21日	高槻市文化財スタッフの会(高槻市)
11月26日	ついすくクラブ!(長岡京市)
11月27日	柳川野草クラブ(高槻市) 千里OB会「椎々(吹田市) 大山崎ふるさとガイドの会(大山崎町) 那賀川図鑑友の会(徳島県) 9団体
12月6日	阪急京都線沿線観光あるき(大阪市)
12月10日	長岡京市わくわく歴史講座(長岡京市) 2団体
2月5日	町立第三小学校 三年生
2月6日	町立第二小学校 三年生
2月12日	町立第四小学校 三年生
2月15日	西国街道を歩く
2月18日	町立第一小学校 三年生
2月21日	自向町長寿会(高槻市) 6団体
3月6日	山旅の会 夢(大阪市)
3月28日	京都KYセンター(京都市) 2団体

年間 44 団体入館

日誌抄録

平成25年度(2013)

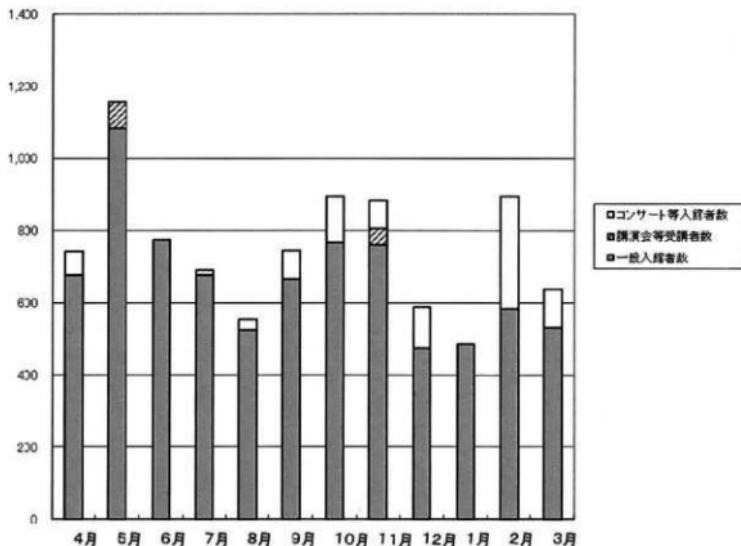
4月4日	資料館ボランティア定例会
4月8日	公募による植物「ベーバークラフト実演」ふるさと島本町内ボランティア
4月2日	公募による植物「ベーバークラフト実演」ふるさと島本町内ボランティア
4月21日	第33回コンサート「川合兼義 ピアノ・ソナタ」
4月28日	「水無瀬池宮茶室開催会替え風景」パネル展(~6/16)
5月8日	施設見習
5月16日	資料館ボランティア定例会
5月18日	講演会「史蹟 横井謹辯物語~むかしといま~」 (講師:横井 貞氏)
5月19日	公募による発表「緑の黒コンサート」ソプラノ 横木
5月21日	公募による発表「一緒に歌いませんか!島本町婦人協会童謡クラブ」
6月1日	公募による植物「ベーバークラフト実演」ふるさと島本町内ボランティア
6月6日	資料館ボランティア定例会
6月8日	公募による植物「ベーバークラフト実演」ふるさと島本町内ボランティア
6月9日	公募による植物「ベーバークラフト実演」ふるさと島本町内ボランティア
6月15日	公募による植物「ベーバークラフト実演」ふるさと島本町内ボランティア
6月16日	公募による植物「ベーバークラフト実演」ふるさと島本町内ボランティア
6月18日	消防訓練
6月19日	「広瀬道詠(藤/木)」免職調査・遺稿展(~8/25)
6月22日	「広瀬道詠(藤/木)」免職調査・遺稿展解説①
6月25日	公募による発表「詩吟吟詠会」真心吟詩会
7月1日	公募による植物「竹難り」島本竹工房(~7/7)
7月4日	資料館ボランティア定例会
7月20日	「広瀬道詠(藤/木)」免職調査・遺稿展解説②
7月27日	夏休み体験学習(どき、ドキ、土葬埋し)①
8月2日	夏休み体験学習(どき、ドキ、土葬埋し)②
8月3日	夏休み体験学習(どき、ドキ、土葬埋し)③
8月24日	「広瀬道詠(藤/木)」免職調査・遺稿展解説③
8月29日	消防訓練
9月12日	資料館ボランティア定例会
9月15日	第34回コンサート「川合重典・末吉智絵 ピアノデュオコンサート」
9月21日	公募による植物「往來の歴史と教育セミナー」第一小学校地城応援団 和
10月6日	第35回コンサート「オータムコンサート」
10月10日	資料館ボランティア定例会
10月18日	公募による発表「一緒に歌いませんか!島本町婦人協会童謡クラブ」
10月27日	第36回コンサート「チエロとピアノ」のコンサート
10月30日	秋の企画展「石に刻まれた歴史」展(~12/15)
11月2日	「水無瀬池宮茶室開催会」展示会(~12/8)
11月14日	資料館ボランティア定例会
11月16日	講演会「西国街道～しまもとの大山崎～」(講師:福島 克彦 氏)
11月17日	第37回コンサート「龍組由美子 ソプラノ・ソナタ」
11月23日	水無瀬池宮茶室展示(~11/24)
12月8日	第38回コンサート「上田晶子 ヴァイオリン・ソナタ」
12月12日	資料館ボランティア定例会
12月16日	島本の神事展「高浜地区、お火祭り祭」(~1/30) 「広瀬道詠(小代)免職調査」遺稿展(~1/30)
12月21日	第39回コンサート「デュオ・マトリョーシカ」
	建物點検
1月9日	新春企画展「しまもとの郷からかむ」原画展(~1/30)
1月15日	たかつきケーブルテレビ撮影
1月16日	資料館ボランティア定例会
2月1日	民具・農具展「むかしの暮らしと農家のしごと」展(~3/2)
2月12日	資料館ボランティア定例会
2月14日	消防設備点検
2月20日	たかつきケーブルテレビ取材・撮影
2月21日	建物點検
3月6日	資料館ボランティア定例会
3月23日	第40回コンサート「池田真己テノールリサイタル」
3月30日	公募による植物「手作りアート・木琴ワークショップ」 島本第一小学校地城応援団 和

利用状況

平成 25 年度入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
一般入館者数	678	1,084	776	677	523	667	769	761	475	487	585	530	8,012
講演会等受講者数	0	74	0	0	0	0	0	46	0	0	0	0	120
コンサート等入館者数	66	0	0	14	33	79	127	78	114	0	310	107	928
総入館者数	744	1,158	776	691	556	746	896	885	589	487	895	637	9,060

入館者数(人)



寄託・寄贈

平成 25 年度は点の寄贈をいただきました。ありがとうございました。

内容	点数	内容	点数
民具類	65 点	カメラ	4 点
文書・書籍	85 点	ビデオ・映写機	3 点
筆および付属品一式	1 点	LP レコード	4 点
合計			152 点

受け入れ図書

発行	刊行物名	発行	刊行物名
池田市教育委員会	池田市文化財調査報告 第39集 池田市埋蔵文化財発掘調査報告 2012年度	大阪府文化研究 第40号-第41号	
池田市立図書史跡資料館	「お隣様の『御跡子』事例」-北摂山田跡の財政再建-	調査報告書 第223集、鬼虎川遺跡	
生物市教育委員会	生物市埋蔵文化財調査報告 第34集 生駒市内遺跡発掘実施報告書 会合書 2012年度	調査報告書 第224集、金剛寺旧境内跡	
奈良市文化振興課	奈良市文化振興課報告書 第34集 奈良市内遺跡発掘実施報告書 会合書 2012年度	調査報告書 第225集、日大駿河原行者跡	
奈良市文化振興課	「魚住野の文化財」 平成25年3月発行	調査報告書 第226集、明和池遺跡2	
奈良市文化振興課	「魚住野の文化財」 平成24年度	調査報告書 第227集、油内遺跡2	
奈良市文化振興課	「魚住野の文化財」 平成25年3月発行	調査報告書 第228集、泉野本郷遺跡2	
奈良市文化振興課	「魚住野の文化財」 平成24年度	調査報告書 第229集、池島・様万寺遺跡14(福原寺Ⅱ期地区)9-1 区画)	
奈良市文化振興課	「魚住野の文化財」 平成24年度	調査報告書 第230集、近畿・様万寺遺跡15	
奈良市文化振興課	「魚住野の文化財」 平成24年度	調査報告書 第231集、佐世道遺跡	
奈良市文化振興課	「魚住野の文化財」 平成24年度	調査報告書 第232集、明和池遺跡、吹田排障塗跡8-2 西の庄東 遺跡	
奈良市文化振興課	「魚住野の文化財」 平成24年度	調査報告書 第233集、近畿・庄内遺跡	
奈良市文化振興課	「魚住野の文化財」 平成24年度	調査報告書 第234集、近畿・庄内遺跡3	
奈良市文化振興課	「魚住野の文化財」 平成24年度	調査報告書 第235集、御井中郷跡-2:木の本遺跡	
奈良市文化振興課	「魚住野の文化財」 平成24年度	調査報告書 第237集、近畿・庄内遺跡	
和泉市教育委員会	和泉市埋蔵文化財調査報告書 第7号-第17号 奈良佐伏太郎遺跡調査工事に伴う埋蔵文化財調査報告書	調査報告書 第238集、大坂屋・猪俣坂・猪俣坂大坂屋宮城(第3期) (宅 地2丁目) 建築工事に伴う埋蔵文化財調査報告書	
和泉市教育委員会	和泉市埋蔵文化財調査報告書 第23号	調査報告書 第240集、高麗寺遺跡	
和泉市教育委員会	和泉市二ニスター vol.1 和泉国荷跡-12-2地点の発掘調査 学校 法人和泉市学園美術専科和泉国荷跡に伴う発掘調査(その1)	調査報告書 第241集、御井中郷跡-2:木の本遺跡	
和泉市教育委員会	和泉市二ニスター vol.2 聖中遺跡(和泉国荷跡)の発掘調査(2) 和泉市中郷東側再開発工事に伴う発掘調査	調査報告書 第242集、近畿・庄内遺跡	
和泉市教育委員会	和泉市二ニスター vol.3 和泉国荷跡-12-2地点の発掘調査 学校 法人和泉市学園美術専科和泉国荷跡に伴う発掘調査(その2)	調査報告書 第243集、近畿・庄内遺跡	
和泉市教育委員会	和泉市二ニスター vol.4 聖中遺跡(和泉国荷跡)の発掘調査(3) 和泉市中郷東側再開発工事に伴う発掘調査	調査報告書 第244集、高麗寺面西遺跡	
茨木市	新修 茨木市文庫叢書 第十一号 新修 茨木市文庫 史籍 第十一号	調査報告書 第245集、茨木市 千里山遺跡 高速自動車国道近 似自動車道名古屋神戸接続事業に伴う埋蔵文化財調査報告書	
茨木市教育委員会	茨木市文庫 史籍 第12号 茨木市文庫 史籍 第12号	調査報告書 第246集、茨木市 久喜山城跡 高速自動車国道近 似自動車道名古屋神戸接続事業に伴う埋蔵文化財調査報告書	
株式会社 イヅソク	イヅソク茨木市内遺跡調査報告 第5号 芝原川河川街跡・油内遺跡	年帳 平成22年度-平成23年	
大阪府立筑波山博物館	平成25年度特選展示 世界筑波山の水と変遷 -水と利根技術- アスカハイア「古鏡の春」 大阪府立筑波山博物館より 2013 vol.3	山帳 国立別原物語女村寺・野山開拓寺跡	
大阪府立 近づ鳥博物館	7259「P-古鏡の歴史」 大阪府立筑波山博物館により 古鏡学からみ た古鏡	松原市 天保2年7月北通造 築堤上に沿った築堤道路に伴う松原市 天保2年6月1号-63号-64号等(近鉄築堤) 築堤事業に伴 う埋蔵文化財調査報告書	
大阪府立 近づ鳥博物館	遠藤が語る 埋墓の歴史 大阪府立筑波山博物館 説明会15	馬見原遺跡資料整理室	
大阪府立 近づ鳥博物館	考古学からみた日本の古代国と古代文化 平成25年度 掘辛持御所跡 古学古心からみた佐古跡	堺井寺市 川口遺跡 バイバス送水路(堺井寺~長吉)整備工事に伴 う埋蔵文化財調査報告書	
大阪府立 近づ鳥博物館	平成25年度 掘辛持御所跡 古学古心からみた佐古跡 平成25年度 各季別別刷 史跡鑑賞会おおぞら2013 大阪府内遺跡調査 最新情報	馬見原遺跡資料整理室	
大阪府立 近づ鳥博物館	大阪府立筑波山博物館40 鬼越原跡 開墾山2号墳	大阪府立近づ鳥博物館 著要	
大阪府立 近づ鳥博物館	大阪府立筑波山博物館報告書41 大阪府筑山市内遺跡部 発掘調査要 約書2号	平成25年度夏季別刷版 佐古人の土の器 モンゴロイドの瀧洋世界 平成25年度 秋季別刷版 吉備古心からみた佐古跡	
大阪府立 近づ鳥博物館	堀山池 過去と未来をつなぐ文化遺産	大阪府立近づ鳥博物館 講義 第18号	
大阪府立 近づ鳥博物館	川にわせカレンダー No. 47	大山崎町歴史資料館 講義 第20回記念企画 第1回企画展 京都御所の城めぐら 解説20周年記念企画 第2回企画展 朝鮮 京都御所の城めぐら	
大阪府立 近づ鳥博物館	特別企画 大阪城跡保存修復計画	岡山市埋蔵文化財センター-研究記録 第5号	
大阪府立 近づ鳥博物館	大阪城石垣の隣接計画 佐古研リーフレットNo. 5 神明山遺跡の隣接計画 佐古研リーフレットNo. 4 谷筋古墳の石碑 佐古研リーフレットNo. 6	岡山市埋蔵文化財センター-平成12~2011(平成23)年度- 荒船道跡-岡山市立山古墳群隣接面に伴う荒船道調査	
大阪府立 近づ鳥博物館	津屋城跡の再現計画 佐古研リーフレットNo. 3 津屋城跡の再現計画 佐古研リーフレットNo. 3	東星宿遺跡-高砂市立山古墳群隣接面に伴う東星宿調査	
大阪府立 近づ鳥博物館	佐古古心ど「他の五王」の時代 佐古古心ど「他の五王」の時代	東山(赤坂)遺跡-吉備古心からみた東山(赤坂)遺跡調査報告書	
大阪府立 近づ鳥博物館	吉備古心ど「他の五王」の時代 佐古古心ど「他の五王」の時代	湯汲山古墳跡-高砂市立山古墳群に伴う湯汲山古墳跡調査報告書	
大阪府立 近づ鳥博物館	大井遺跡の復元概要 第1回	河内長野市埋蔵文化財調査報告書 第81集 河内長野市埋蔵古跡発掘調査報告書35	
大阪府立 近づ鳥博物館	大阪府埋蔵文化財調査報告書2012-1 大阪府内遺跡部発掘調査報告書17	かくひ文化財だより テラス 第4号	
大阪府立 近づ鳥博物館	大阪府埋蔵文化財調査報告書2012-1 大阪府内遺跡部発掘調査報告書17	かくひ文化財だより テラス 第4号-2号	
大阪府立 近づ鳥博物館	大阪府埋蔵文化財調査報告書2012-2 和泉寺跡-荷中通跡 B-都市計 画道路大坂岸と南北海道整備事業に伴う荷中通調査-	柏原市文化財調査報告書 2010- I 柏原市内遺跡部発掘調査報告書 平成 21(2009)年度	
大阪府立 近づ鳥博物館	大阪府人形劇「かくひ人形」その2と3 DVD 平成24年度文化立地域の文化遺産を活かした観光資源・地域活性化 事業 大阪府の看守工房「最近のわざ・熱闘闘牛の研究」サハリに 携わる	柏原市文化財調査報告書 2012- I 平成24年度 交野市埋蔵文化 財発掘調査報告書	
大阪府立 近づ鳥博物館	平成24年度文化立地域の文化遺産を活かした観光資源・地域活性化 事業 大阪府の看守工房「最近のわざ・熱闘闘牛の研究」サハリに 携わる	河内長野市文化財修理工事報告書54號 河内長野市指定文化財 田 三郎市交番保存修理工事報告書	
大阪府立 近づ鳥博物館	平成24年度文化立地域の文化遺産を活かした観光資源・地域活性化 事業 大阪府の看守工房「最近のわざ・熱闘闘牛の研究」サハリに 携わる	河内長野市文化財修理工事報告書55號 河内長野市埋蔵文化財調査報 告書31 三郎市北通遺跡	
大阪府立 近づ鳥博物館	平成24年度文化立地域の文化遺産を活かした観光資源・地域活性化 事業 大阪府の看守工房「最近のわざ・熱闘闘牛の研究」サハリに 携わる	「から縄文ふるさと歴史と音楽」実践授業 第2回 「から縄文ふるさと歴史と音楽」第7回	
大阪府立 近づ鳥博物館	平成24年度文化立地域の文化遺産を活かした観光資源・地域活性化 事業 大阪府の看守工房「最近のわざ・熱闘闘牛の研究」サハリに 携わる	河内長野市文化財修理工事報告書40~200年齋(江戸時代) の河内長野	
大阪府立 近づ鳥博物館	平成24年度文化立地域の文化遺産を活かした観光資源・地域活性化 事業 大阪府の看守工房「最近のわざ・熱闘闘牛の研究」サハリに 携わる	関西大学博物館 関西大学博物館総説 記録 No.86-No.87	
大阪府立 近づ鳥博物館	平成24年度文化立地域の文化遺産を活かした観光資源・地域活性化 事業 大阪府の看守工房「最近のわざ・熱闘闘牛の研究」サハリに 携わる	岸和田市史跡資料第10輯平成23年3月刊行 施氏友加日記(8) 岸和田市文化財修理工事報告書39 平成24年度 先祖調査報告書	
大阪府立 近づ鳥博物館	平成24年度文化立地域の文化遺産を活かした観光資源・地域活性化 事業 大阪府の看守工房「最近のわざ・熱闘闘牛の研究」サハリに 携わる	岸和田市文化財 第5号 清白賀健次郎賞式	
大阪府立 近づ鳥博物館	平成24年度文化立地域の文化遺産を活かした観光資源・地域活性化 事業 大阪府の看守工房「最近のわざ・熱闘闘牛の研究」サハリに 携わる	岸和田市埋蔵文化財調査報告書11 久末田古墳群発掘調査報告書 1-1 黄土古墳の調査-	

発行	刊行物名	発行	刊行物名
京都市文化市民局	京都市内遺跡群分布調査報告 平成24年度	京都市文化市民局	伝統文化 2013夏 No.45 記念の春祭り [特集]式年運営記念シカゴ・ワシントンへ七度・日本人の近畿観
	京都市内遺跡群調査報告 平成24年度		伝統文化 2013秋 No.49 神楽の使者へようこそ!~「神楽」能鑑賞~
京都府大学 文学部	京都府大学 文化財調査報告書 2012 延暦寺清瀧院詳報、藤原丸山古墳、巣谷古墳群大石・茶ノ木山詳報	公益財団法人 伝統文化活性化 国民協会	伝統文化 2014秋 No.51 伝統文化の夏祭り
国際文化財財団会社	京都市内遺跡調査報告 第4編 平安宮東京三条西坂苔跡・当持寺跡		伝統文化 2014冬 No.52 伝統文化の夏祭り
市原市	第三回 史跡土塁講演会記録集 東大寺と土塁 第三回百舌鳥古墳講演会記録集 淀の武蔵・白壁の武蔵	富田林市教育委員会	富田林市文化財調査報告書42 吉志遺跡Ⅱ
	越後物文財 清涼院詳報工程報告書		富田林市文化財調査報告書51 平成23年度 富田林市内遺跡発掘調査報告会
	市原市文化財調査報告書 第142回高麗窓跡群光明池地区免耕地発掘調査報告		富田林市文化財調査報告書52 平成24年度 富田林市内遺跡発掘調査報告会
	市原市文化財調査報告書 第143回大仙山西道跡免耕地調査報告書	長岡市教育委員会	長岡市文化財調査報告書 第64回
市原市教育委員会	市原市文化財調査報告書 第144回平成23-24年度市内遺跡発掘・令和國遺跡夏祭り		長岡市文化財調査報告書 第65回 長岡天満宮資料調査報告書 吉香編
	市原市文化財調査報告書 第145回櫛尾尾中山西道跡免耕地調査報告書	独立行政法人 地域活性化事業団 地域活性化事業団 農業文化財研究会 農業部文化財研究会	遺跡情報交換機会の研究 第3回
	市原市文化財調査報告書 第146回櫛尾尾中山西道跡免耕地調査報告書		伝統文化ニュース150 マイクロフォーカスX線CTを用いた木造彫刻部材の構造と植物年代調査(2)
	百舌鳥古墳群の調査? 南海古墳群調査会記録報告書	独立行政法人 國立文化財機構 國立文化財研究所 伝統文化センター	伝統文化ニュース151 東日本大震災の文化防災スキューー農文化の活動
	平成24年度 免耕地跡免耕地調査報告書吉香		伝統文化ニュース152 災害時ににおける伝統文化防災研究会の支援
	四つ道跡、その6 稲佐1年度実施調査報告書		伝統文化ニュース153 2011年度、伝統文化防災統計資料
解説りながらはじめる 出土馬鹿の歴史	平成24年度文化産業活用した地域活性化事業報告書 書 出島浜詠歌	新潟市文化財調査研究会	伝統文化ニュース154 地元で活躍する土建工事、研究会見付
新潟県水俣市文化委員会	水俣市文化ニース 佐竹太 第35回		伏見城跡・桃山遺跡免耕地調査報告(仮題) 公務員研修会見付往々
四条畷市教育委員会	四条畷市文化財調査報告書 丹井良井遺跡免耕地調査報告書	鶴ヶ城町文化財調査報告会	鶴ヶ城町文化財調査報告書 第31回 平成24年度鶴ヶ城町文化財調査概要
吹田市立博物館	旧中野庄作田園調査報告書	大阪市立歴史博物館	大阪市立歴史博物館 平成25年度 特別展示「東宝裏でひづりの原流」
	吹田市埋蔵文化財調査報告書2号 朝日町遺跡第1次調査 兵庫県立	兵庫県立考古館 埋蔵文化財会議	「播磨の國・土記」播磨開拓1500年記念特別展 加古川市内にみる播磨の世界
吹田市教育委員会	平成25(2013)年度 延暦文化財緊急免耕地調査報告書 水道遺跡 高塚遺跡 露人遺跡 高砂遺跡 片山東屋敷遺跡	高槻市立埋蔵文化財調査報告会	高槻市埋蔵文化財調査報告会 第20回 年度版
	四条畷市埋蔵文化財調査報告書 丹井良井遺跡免耕地調査報告書	吹田市立教育委員会	吹田市立埋蔵文化財調査報告会 第31回 年度版
	吹田市立博物館		藤井寺市立埋蔵文化財調査報告書9号 土器の星遺跡(H23.7.10-7.25)
泉南市教育委員会	泉南市遺跡免耕地調査報告書ⅩⅩⅩ 泉南市文化財調査報告書 第52回		藤井寺市立埋蔵文化財調査報告書9号 古市宿場(INK2011-3区)
	大垣市國體升旗台跡 地図案内書	藤井寺市教育委員会	藤井寺市埋蔵文化財調査報告書10号 丹波山古墳(MKK2012-1区)
	大垣市埋蔵文化財調査報告書第30回 平野屋新町会所跡 認定調査報告書		藤井寺市立埋蔵文化財調査報告書11号 高塚山古墳(INK2010-2区)
	大垣市埋蔵文化財調査報告書第31回 寺川汎津遺跡・一尚岡住宅跡調査に伴う埋蔵文化財調査報告書		藤井寺市埋蔵文化財調査報告第34回 津家城跡 古市古墳群の調査研究報告
	大垣市埋蔵文化財調査報告書第32回 石切場跡免耕地調査報告書—信州川沿岸工業遺産の石切場跡調査		藤井寺市埋蔵文化財調査報告第34回 石川汎津遺跡野舟遺跡調査報告XXVII
大東市教育委員会	大東市埋蔵文化財調査報告書 第1回	文化庁文化財記念研究会	文化庁文化財記念研究会のびきー各種講習会場
	大東市埋蔵文化財調査報告書第33回 平野屋新町会所跡免耕地調査 第一宅地開闢に伴う調査	松原市教育委員会	奈良市文化財ニース 佐竹太
	大東市埋蔵文化財調査報告書第34回 平野屋新町会所跡 保存整備に伴う埋蔵文化財調査報告書		松原市教育委員会たじひのだより 松原市文化財情報誌 No.12
	大東市埋蔵文化財調査報告書第35回 大東市立埋蔵文化財調査報告書 第1回	滋賀県教育委員会	平成24年度 滋賀県埋蔵文化財
	大東市埋蔵文化財調査報告書第36回 大東市立埋蔵文化財調査報告書 第1回	滋賀県埋蔵文化財調査年報 10 -平成23年度の調査地-	滋賀県埋蔵文化財調査報告書 第10号
	大東市埋蔵文化財調査報告書第37回 大東市立埋蔵文化財調査報告書 第1回	滋賀県立埋蔵文化財調査研究会	滋賀県立埋蔵文化財調査研究会 第10号
	大東市埋蔵文化財調査報告書第38回 大東市立埋蔵文化財調査報告書 第1回	滋賀県立埋蔵文化財調査研究会	滋賀県立埋蔵文化財調査研究会 第10号
	V-RD・GPSによる発掘調査図		滋賀県立埋蔵文化財調査研究会 第10号
大東市立博物館	平成25年度 大東市立埋蔵文化財調査報告書 大阪のだから	滋賀県立埋蔵文化財調査研究会	滋賀県立埋蔵文化財調査研究会 第10号
高石市教育委員会	高石市文化財調査報告書 第1回 高石市立埋蔵文化財調査報告書	向日市文化財調査課	鳥居・移転の二例をゆく 向日市立埋蔵文化財調査 平成25年度企画展「向日里人物志」の世界~近世江戸の文化とサヨン~
高石市立 今城宿古代歴史館	平成25年度夏季企画展 ハニワードへようこそ! 今城宿の大内堀跡解説		山城国乙訓物語女郎村・野尻山岡美術館
	平成25年度夏季特別展 淀川中流域の野生文化		
	三島形生文化的な構築-実・満通遺跡の探求- 高石市立今城宿古代歴史館 平成25年春季特別展	ひこうひら埋蔵文化財センター	ひこうひら埋蔵文化財センター 奈良市立埋蔵文化財調査研究センター
	よみがえる古代の橋と石器品による今城宿古墳時代・高麗古墳立今城宿古代歴史館 平成25年春季特別展	京都府埋蔵文化財調査 第120号-第123号	京都府埋蔵文化財調査 第120号-第123号
高槻市立 市教育委員会	高槻市文化財調査報告40 晩上遺跡第2回	八咫敷教育委員会	大阪府八咫敷市所在 高安千呂古墳群 高安山麓に残された河内の大型古墳群
	しうあたどり 第6号-第7号	八咫敷教育委員会	八咫敷教育委員会 第10回
高槻市立 しうあたどり史料館	高槻市市制施行70周年・中核市移行10周年・高槻市立しうあたどり歴史開創10周年記念特集展 第1回 高槻市立埋蔵文化財調査報告書	八咫敷教育委員会	八咫敷教育委員会 第10回
	高槻市文化財調査報告書三十回 本山寺文書・神山寺文書・安政御文書 調査報告書	公益財団法人 八咫敷文化財調査研究会	八咫敷文化財調査研究会 第30回 年度版
	高槻市のアートマーク 古書部屋・藤井カズル・くられんさん 島崎一川峰コレクション名品選一	八咫敷文化財調査研究会	八咫敷文化財調査研究会 第30回 年度版
チーム乙訓	チーム乙訓編集 平成26年1月刊行第二回 乙訓語名辞	歴史といみさきの 和歌山市	歴史遺連「いみさき」のVol.25 再発売日記録の世界
帝理工大学 考古学研究室	シボリウム考古学卷 調査、前原慶子著考文	伊丹市立考古学研究会	文化財調査報告書第1集 西脇陣・通称「小平大浦」(上地店)発掘調査報告書
	帝理工大学考古学研究室研究報告XV		平成25年度 かつらぎ町埋蔵文化財調査年報

調査・研究

淀川より出土した須恵器甕について

島本町教育委員会 久保 直子

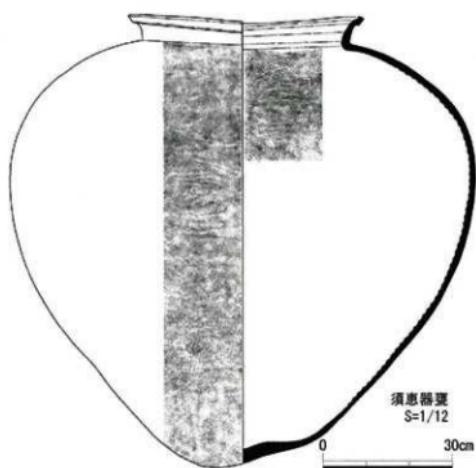
淀川河川敷中洲で、平成6年に野外考古学調査を行なっていた地域住民によって発見されました。上流には山崎津推定地があり、奈良時代から平安時代にかけ、港として栄えていたとされています。

頸部は48.2cmと幅広で、口頸部長が6.5cmと短く、肩部が外に大きく張り出し、尖底に近い丸底です。体部外面には、格子目状のタタキ目が全体に見られ、内面には同心円状のあて具痕が明瞭に残ります。胎土は灰白色を基調とした精良なもので、焼成は良好。肩部及び頸部に自然釉の付着が見られます。色調は明青灰色ですが、一部、埋没時に付着した鉄分による赤褐色部分があります。製作技法は、粘土紐を積み上げ、タタキで形成されており、須恵器甕の基本的な技法です。

産地としては、古墳時代以来の一大生産地である大阪府南部の陶邑窯跡群や、その影響下にあつたと考えられる播磨諸窯、東海地域では美濃須恵古窯群などの候補地が挙げられます。

本甕が淀川河床から出土したことは、重量のある須恵器大甕が、淀川を経由して水路で平城京、長岡京、平安京などの都域に運ばれたことを示しており、出土地付近に物資輸送の中継地としての河港が存在したものと推定されます。このような大型品が陸路ではなく、水路で運ばれたことを如実に示す資料としても、都との関連の深い本町の歴史を理解する上で、極めて重要な考古資料と考えられます。

大阪府下の諸遺跡からの出土例に、同等のものがほとんど知られていない現段階では年代や産地の特定は難しく、今後の調査・研究により明らかにしていきたいと思っています。



口径 : 52.6 cm
器高 : 105.0 cm
最大胴部径 : 107.8 cm
(底部から 65.9 cm の地点)
容量 : 522.6 L

町指定文化財一覧

島本町文化財保護条例が平成 20 年 7 月 1 日に施行されました。

島本町文化財保護審議会にて審議いただき下記の文化財が指定されました。

平成 21 年度

島本町指定文化財 第 1 号	
名 称	水無瀬駒 関連資料
指 定 日	平成 21 年 4 月 14 日
所 有 者	水無瀬神宮（個人）
所 在 地	広瀬三丁目
種 類	有形文化財
種 別	美術工芸品（歴史資料）
員 数	小将棋（漆書・八十二才銘） 一揃 合計 39 枚 飛車が欠落 中将棋（墨書・八十六才銘） 一揃 合計 91 枚 歩兵が欠落 中将棋（漆書）残欠四枚 象戯図一巻 附 象戯図一巻
時 代	安土桃山時代

平成 22 年度

島本町指定文化財 第 2 号	
名 称	神像（伝 聖徳太子七歳像）
指 定 日	平成 22 年 4 月 5 日
所 有 者	若山神社
所 在 地	大阪市立美術館 寄託
種 類	有形文化財
種 别	美術工芸品（彫刻）
員 数	1 個
品質・形状	ヒノキ材・一本造り・ 彫眼・彩色仕上げ
法 量	像高 35.8cm
時 代	平安時代後期

平成 23 年度

島本町指定文化財 第 3 号	
名 称	宝城庵 薬師如来立像
指 定 日	平成 23 年 4 月 1 日
所 有 者	宝城庵
所 在 地	桜井三丁目
種 類	有形文化財
種 别	美術工芸品（彫刻）
員 数	1 個
品質・形状	ヒノキ材・一本造り・ 彫眼・彩色仕上げ
法 量	像高 96.5cm
時 代	平安時代後期

平成 24 年度

島本町指定文化財 第 4 号	
名 称	勝幡寺 薬師如来立像
指 定 日	平成 24 年 4 月 1 日
所 有 者	勝幡寺
所 在 地	山崎四丁目
種 類	有形文化財
種 别	美術工芸品（彫刻）
員 数	1 個
品質・形状	ヒノキ材・削矧ぎ造りか・ 彫眼・漆箔仕上げ
法 量	像高 150.1cm
時 代	鎌倉時代

島本町指定文化財 第 1 号 追加	
名 称	持菴馬日記
指 定 日	平成 23 年 4 月 1 日
所 有 者	水無瀬神宮（個人）
所 在 地	広瀬三丁目
種 類	有形文化財
種 别	美術工芸品（歴史資料）
時 代	17 世紀初期
員 数	一冊



勝幡寺 薬師如来立像

島本町立歴史文化資料館 館報 第6号
平成25年度版(2013)

発行 島本町教育委員会
〒618-8570
大阪府三島郡島本町桜井二丁目1番1号
TEL 075-961-5151

発行日 平成27年3月

印刷 三星商事印刷株式会社
〒604-0093
京都市中京区新町通竹屋町下ル弁財天町300
TEL 075-256-0961

